

全国農業新聞

週刊 月4回金曜日発行
購読料：月700円(送料、税込み)

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会のネットワークが発行する週刊の農業総合専門紙。月1回の岩手版では、本市をはじめ県内の農業委員会事務局職員が、担い手や身近な出来事

全国農業新聞は、農業者の視点で取材し、記事を執筆しています。購読の申し込みは、お近くの農業委員・農地利用最適化推進委員又は農業委員会事務局(市役所4階)までどうぞ。



農業者年金に加入しましょう!

- 保険料は全額社会保険料控除
- 保険料を月額2万円から6万7千円まで選べて、途中で変更できます。(35歳未満の人は月額1万円から加入可能)
- 受給開始時期を選択できます(65歳以上75歳未満)
- 60歳以上65歳未満の国民年金任意加入者も加入できます。
- 終身年金で安心

※農業者年金に加入できる人は、「国民年金第1号被保険者」で「年間60日以上農業に従事」する「60歳未満」の人です。

☆詳しくは JA または農業委員会事務局へ

農地貸借料情報(実勢の単価)【10a当たり】

	平均額	最高額	最低額	データ数
田	3,000円	3,000円	3,000円	25件
畑	6,967円	10,000円	2,958円	34件

令和3年1月から令和3年12月

祖父母が続けた有機・無農薬栽培

経営継承めざし就農



凧之介さんと祖父の税さん

陸前高田市生まれの吉田凧之介さん(25)は、2020年7月に地元に戻り、「青年等就農計画」が認定された昨年4月から施設野菜と露地野菜に取り組んでいる。

凧之介さんは、祖父で農業委員を8期24年務めた税さん(87)が妻のエイ子さんと二人で35年間続けてきた有機・無農薬栽培を学び、5年後の全面的な経営継承を目指す。「安全で栄

陸前高田市の吉田さん

養価の高いものをつくる」ことが目標だ。

広田湾を望む圃場は、日当たりがよく、加温が必要。経営面積は40坪ほどで「一圃場3作」を目安に、種や有機肥料を厳選している。「少量多品目」で、苗を販売するほか、市場の動向を見ながら、比較的高値で販売できる時期を見定めて作付けし、生産物の長期出荷をめざす。

ハウスには、トマトやホウレンソウなどの野菜のほか、花やブドウもある。販売先は、地元の産直や市日で、直接圃場に来る人も多い。

凧之介さんが、昨年初めて作付けしたトウモロコシは、獣害で半分収穫となったが、「次は負けない」と前向きだ。凧之介さんの父は東日本大震災津波で亡

令和4年2月18日付け全国農業新聞岩手版より

ひとこと

村上 啓博さん



26歳でUターンし、地元農協で花づくりの仕事をして、面白さを感じたことが、農業を始めるきっかけになった。Uターンの3年後に

は独立し、平泉町の花農家。本年度は市場の需要に

野菜苗栽培にも 取り組みを拡大

現在、シクラメンから移行し、パンジー、ピオラ、

に通りで弟子入りしながら、シクラメン栽培を始め、現在、シクラメンから移行し、パンジー、ピオラ、

くなくなっており、税さんは、一度は農業をやめようと思っていたことから、孫の就農を誰よりも喜んでいる。

地元のリンゴ農家で、農業者年金加入を勧めている鈴木桂子農業委員は「未来に向かっがんばろうと輝野光(二情報員) (陸前高田市農委会・菅

令和3年7月16日付け全国農業新聞岩手版より